

著作権等について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。左記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作人権格侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したのものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

本機に搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作人権などをはじめとする著作権等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等は行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

下記の1件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。

Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations :

4,901,307	5,490,165	5,056,109	5,504,773
5,101,501	5,506,865	5,109,390	5,511,073
5,228,054	5,535,239	5,267,261	5,544,196
5,267,262	5,568,483	5,337,338	5,600,754
5,414,796	5,657,420	5,416,797	5,659,569
5,710,784	5,778,338		

動画の撮影／再生の技術には「MPEG-4」が使われています。

This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and non-commercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use. Additional information may be obtained from MPEG LA.

See <http://www.mpegla.com>.

This product is licensed under the MPEG-4 Systems Patent Portfolio License for encoding in compliance with the MPEG-4 Systems Standard, except that an additional license and payment of royalties are necessary for encoding in connection with (i) data stored or replicated in physical media which is paid for on a title by title basis and/or (ii) data which is paid for on a title by title basis and is transmitted to an end user for permanent storage and/or use. Such additional license may be obtained from MPEG LA, LLC.

See <http://www.mpegla.com> for additional details.



本機は、RSA Security Inc.のRSA® BSAFE™ソフトウェアを搭載しています。RSAはRSA Security Inc.の登録商標です。BSAFEはRSA Security Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

この製品では、株式会社アブリックスがJava™アプリケーションの実行速度が速くなるように設計したJBlend™が搭載されています。



Powered by JBlend™. Copyright 1997-2007 Aplix Corporation. All rights reserved.

JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アブリックスの商標または登録商標です。

JavaおよびJavaに関連する商標は、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。



microSD™、miniSD™はSD Card Associationの商標です。

NetFront®

本製品はインターネットブラウザおよびSMILプレーヤとして、株式会社ACCESSのNetFront BrowserおよびNetFront SMIL Playerを搭載しています。Copyright© 1996-2007 ACCESS CO., LTD. ACCESS、NetFrontは株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

IrSimple™、IrSS™およびIrSimpleShot™は、Infrared Data Association®の商標です。

Bluetooth® is a trademark of the Bluetooth SIG, Inc.



The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Sharp is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

Bluetooth®は、米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

本機のBluetooth®機能の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ライン等で使用されている構内無線局、アマチュア無線局など(以下、「他の無線局」と略す)が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

- 1 Bluetooth®機能を使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「他の無線局」が運用されていないことを目視で確認してください。
- 2 万一、Bluetooth®機能の使用にあたり、本機と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Bluetooth®機能の使用を停止(電波の発射を停止)してください。
- 3 その他不明な点やお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：ソフトバンク お客さまセンター

ソフトバンク携帯電話から 157 (無料)
(一般電話からおかけの場合、「お問い合わせ先」(P.14-38)を参照してください。)

この無線機器は、2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFHSS変調方式を採用し、与干渉距離は10m以下です。

2.4FH1

Microsoft®Wordは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。

Microsoft、PowerPoint、Microsoft Excelは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

Powered by Mascot Capsule®/Micro3D Edition™
Mascot Capsule® is a registered trademark of HI Corporation
©2002-2007 HI Corporation. All Rights Reserved.

FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。

FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。

☞は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。

FeliCa is a contactless IC card technology developed by Sony Corporation.

FeliCa is a trademark of Sony Corporation.

「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。


QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

本製品はAdobe Systems Incorporatedが開発したAdobe® Flash® Lite™テクノロジーを搭載しています。

Copyright© 1995-2007 Adobe Macromedia Software LLC. All rights reserved.

Adobe、FlashはAdobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における商標または登録商標です。



picxel  ドキュメントビューアは、Picxel Technologiesにより実現しています。

Picxel, Picxel Powered, Picxel Viewer, Picxel File Viewer, Picxel Document Viewer, Picxel PDF Viewer またはPicxelキューブロゴはPicxel Technologiesの商標または登録商標です。

サイクロイドおよび「Cycloid」はシャープ株式会社の登録商標です。

着うた®、着うたファイル®は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

BookSurfingは株式会社セルシス、株式会社ボイジャー、株式会社インフォシティの登録商標です。

SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。

「Yahoo!」および「Yahoo!」[Y!]のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

CP8 PATENT

TV コール、S! アプリ、カスタムスクリーン、スカイメール、ムービー写メール、写メール、デルモジ、インブットメモリ、ちかチャット、マルチジョブ、S! メール、アレンジメール、フィーリングメール、S! マガジン、S! タウン、S! ループ、待受ウィンドウ、PCサイトブラウザ、お天気アイコン、S! 速報ニュース、S! 電話帳バックアップ、S! 一斉トーク、S! ともだち状況、生活アプリ、S! おなじみ操作、S! ミュージックコネクトはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。

その他の記載している会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

携帯電話機の比吸収率 (SAR) について

この機種【920SH】の携帯電話は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関 (WHO) と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

すべての機種の携帯電話は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの証明 (技術基準適合証明) を受ける必要があります。この携帯電話機【920SH】も財団法人テレコムエンジニアリングセンターから技術基準適合証明を受けており、SARは●●W/kgです。この値は、技術基準適合証明のために財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によって SARに多少の差異が生じることもあります。いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常 SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
<http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm>

社団法人電波産業会のホームページ
<http://www.arib-emf.org/initiation/sar.html>

※技術基準については、電波法関連省令 (無線設備規則第14条の2) で規定されています。

「ソフトバンクのボディ SARポリシー」について

*ボディ (身体) SARとは: 携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率 (SAR) のことです。

* *比吸収率 (SAR): 6分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。当社では、ボディSARに関する技術基準として、米国連邦通信委員会 (FCC) の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会 (FCC) の電波ばく露の影響に関する情報」[欧州における電波ばく露の影響に関する情報] をご参照ください。

* * *身体装着の場合: 一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品を含められないものを選んでください。

ソフトバンクのホームページからも内容をご確認いただけます。
<http://www.softbankmobile.co.jp/corporate/legal/emf/emf03.html>

「米国連邦通信委員会 (FCC) の電波ばく露の影響に関する情報」
米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。測定試験は機種ごとにFCCが定めた基準で実施され、下記のとおり本取扱説明書の記載に従って身体に装着した場合は●●W/kgです。

身体装着の場合: この携帯電話機【920SH】では、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品を含められないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。比吸収率 (SAR) に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のホームページを参照してください。

Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) のホームページ
<http://www.phonefacts.net> (英文のみ)

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

この携帯電話機【920SH】は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) という単位を用いて測定します。携帯電話器におけるSAR許容値は2W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は●●W/kgです。

SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
(<http://www.who.int/emf>) (英文のみ)

* 身体に装着した場合の測定試験はFCCが定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。


Safety Precautions


- Read safety precautions before using handset.
- Observe precautions to avoid injury to self or others, or damage to property.
- SoftBank is not liable for any damages resulting from use of this product.


Before Using Handset

■ Symbols

Make sure you thoroughly understand these symbols before reading on. Symbols and their meanings are described below:

 **DANGER** Great risk of death or serious injury from improper use

 **WARNING** Risk of death or serious injury from improper use

 **CAUTION** Risk of injury or damage to property from improper use



Prohibited Actions



Compulsory Actions



Attention Required

DANGER

Handset, Battery & Charger

Use specified battery, Charger and Desktop Holder only.

Using non-specified equipment may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

Do not short-circuit Charger terminals.

Keep metal objects away from Charger terminals. Keep handset away from jewelry. Battery may leak, overheat, burst or ignite causing injury. Use a case to carry battery.

Battery

Prevent injury from battery leakage, breakage or fire. Do not:

- Heat or dispose of battery in fire
- Open/modify/disassemble battery
- Damage or solder battery
- Use a damaged or deformed battery
- Use non-specified charger
- Force battery into handset
- Charge battery near fire or sources of heat; or expose it to extreme heat
- Use battery for other equipment

If battery fluid contacts eyes, do not rub them. Rinse with clean water and consult a doctor immediately.

Eyes may be severely damaged.

WARNING

Handset, Battery & Charger

Do not insert foreign objects into the handset, Charger or Desktop Holder.

Do not insert metal or flammable objects into handset, Charger or Desktop Holder; may cause fire or electric shock. Keep out of children's reach.

Keep handset out of rain or extreme humidity.

Fire or electric shock may result.

Keep handset away from liquid-filled containers.


Keep the handset, Charger and Desktop Holder away from chemicals or liquids; fire or electric shock may result.

Keep battery, handset, Charger or Desktop Holder away from microwave ovens.

Battery, handset, Charger or Desktop Holder may leak, burst, overheat or ignite, leading to accidents or injury.

Do not disassemble or modify handset or related hardware.

- Do not open handset, Charger or Desktop Holder; may cause electric shock or injury. Contact SoftBank Customer Center, Customer Assistance for repairs.
- Do not modify handset, Charger or Desktop Holder; fire or electric shock may result.

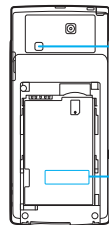
Do not use Mobile Light near people's faces. Eyesight may be temporarily affected leading to accidents. 

CAUTION:

Use of controls, adjustments or performance of procedure other than those specified herein may result in hazardous radiation exposure. As the emission level from Mobile Light LED used in this product is harmful to the eyes, do not attempt to disassemble the cabinet. Servicing is limited to qualified servicing station only.

EN60825-1:1994 A1:2002 & A2:2001

CLASS 1
LED Product



Mobile Light

CAUTION-CLASS 1M
LED RADIATION WHEN OPEN
DO NOT VIEW DIRECTLY WITH
OPTICAL INSTRUMENTS

■ LED Properties for Mobile Light

- Emission Duration: Continuous
- Wavelength
 - White: 400 - 700 nm
- Maximum Emission Output
 - White: 240 μ W (1.2 mW inside handset)

If water or foreign matter is inside handset:

Discontinue handset use to prevent fire/ electric shock. Turn off handset, remove battery and unplug Charger, then contact SoftBank Customer Center, Customer Assistance.

Keep handset off and Charger disconnected near filling stations or places with fire/explosion risk.



Handset use near petrochemicals or other flammables may cause fire/explosion; turn handset off before using S! FeliCa at filling stations (cancel IC Card Lock beforehand).

Do not subject handset, to strong shocks or impacts.



- Avoid strong shocks to AC Charger while it is plugged into the outlet; may cause malfunction or injury.
- Strong shocks or impacts to handset, Charger or Desktop Holder may cause malfunction or injury. Should handset be damaged, remove battery then contact SoftBank Customer Center, Customer Assistance. Discontinue handset use; fire or electric shock may occur.

If an abnormality occurs:

If a handset emits an unusual sound, smoke or odor, discontinue use; may cause fire or electric shock. Turn off handset, remove battery and unplug Charger; contact SoftBank Customer Center, Customer Assistance.



Handset

Take measures to prevent accidents.



- Do not use handset while driving; park beforehand. Mobile phone use while driving is prohibited by the Road Traffic Law (revised November 1, 2004).
- Do not use Headphones while driving or cycling. Accidents may result.
- Moderate volume outside, especially near road/rail crossings, etc. to avoid accidents.

Do not swing handset by Headphones or strap.



May result in injury or breakage.

Turn handset power off before boarding aircraft.



Using wireless devices aboard aircraft may cause electronic malfunctions or endanger aircraft operation.

Adjust vibration and ringtone settings:



Users with a heart condition/pacemaker/defibrillator should adjust handset settings accordingly.

During thunderstorms, turn power off; find cover.



There is a risk of lightning strike or electric shock.

Charger

Use only the specified voltage.



Non-specified voltages may cause fire or electric shock.

- **AC Charger:** AC 100V-240V Input
- **In-Car Charger:** DC 12V-24V Input

Do not use In-Car Charger in positive earth vehicles.



Fire may result. Use in negative earth vehicles only.

Charger care

- Do not touch blades with wet hands. Electric shock may occur.
- Do not use multiple cords in one outlet; may cause excess heat/fire.
- Do not bend, twist, pull or set objects on cord. Exposed wire may cause fire or electric shock.



Do not short-circuit Charger terminals.



May cause overheating, fire or electric shock. Keep metal away from terminals.

Do not use Desktop Holder inside vehicles.



Extreme temperature or vibration may cause fire or damage handset, etc.

Take measures to prevent accidents.



Secure In-Car Charger to avoid injury or accidents.

Damaged AC Charger/In-Car Charger cord:



May cause fire or electric shock; discontinue use and purchase a new Charger.

During thunderstorms:

Unplug Charger to avoid damage, fire or electric shock.



Charger/Desktop Holder use and children:

May cause electric shock/injury; keep out of reach.



Battery

- If battery does not charge properly, stop charging. Battery may overheat, burst or ignite.
- If there is leakage or abnormal odor, avoid fire sources. It may catch fire or burst.



If there is abnormal odor, excessive heat, discoloration or distortion, remove battery from handset. It may leak, overheat or explode.



Handset Use & Electronic Medical Equipment

This section is based on "Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference, April 1997) and "Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc." (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

Persons with implanted pacemaker/defibrillator should keep handset more than 22 cm away.



Radio waves can interfere with implanted pacemakers or defibrillators causing such devices to malfunction.

Turn handset off in crowds or trains where persons with implanted pacemaker/defibrillator may be near.



Radio waves can interfere with implanted pacemakers or defibrillators causing such devices to malfunction.

Observe these rules inside medical facilities:



- Do not enter an operating room or an Intensive or Coronary Care Unit while carrying a handset.
- Keep handset off in hospitals, including lobbies.
- Obey medical facility rules on mobile phone use.

Consult electronic medical equipment vendor on radio wave effects.



CAUTION

Handset, Battery & Charger

Handset care

- Place handset on stable surfaces to avoid malfunction or injury.
- Keep handset away from oily smoke or steam. Fire or accidents may result.
- Cold air from air conditioners may condense, resulting in leakage or burnout.
- Keep handset away from direct sunlight (inside vehicles, etc.) or heat sources. Distortion, discoloration or fire may occur. Battery shape may be affected.
- Keep handset out of extremely cold places to avoid malfunction or accidents.
- Keep handset away from fire sources to avoid malfunction or accidents.



Usage environment

- Excessive dust may prevent heat release and cause burnout or fire.
- Avoid using handset on the beach. Sand may cause malfunction or accidents.
- Keep handset away from credit cards, telephone cards, etc. to avoid data loss.



Handset

Handset temperature

Handset may become hot while in use. Avoid prolonged contact with skin especially at high temperature. May cause burn injuries.



Avoid leaving handset in extreme heat (inside vehicles, etc.).

Handset may become hot to the touch, leading to burn injuries.



Volume settings

Moderate handset volume; excessive volume may damage ears or hearing.



Headphones

- Do not force plugs or pull on cord; may damage plugs or cord.
- Keep plugs clean to avoid noise and malfunction.



Inside vehicles

Handset use may cause electronic equipment to malfunction.



If you experience any skin irritation associated with handset use, discontinue handset use and consult a doctor.



Some materials may cause skin irritation, rashes, or itchiness depending on your physical condition.

Charger

Charger & In-Car Charger

- Grasp plug (not cord) to disconnect Charger. May cause fire/electric shock.
- Keep cord away from heaters. Exposed wire may cause fire or electric shock.
- Stop use if plug is hot or improperly connected. May cause fire/electric shock.
- Keep In-Car Charger socket clean. May overheat and cause injury.



Do not touch Desktop Holder while in use.
May cause burn injuries.

Use only the specified fuse.

1 A fuse for In-Car Charger. Or may cause damage/fire.



Always charge handset in a well-ventilated area.

Avoid covering/wrapping Charger and Desktop Holder; may cause damage/fire.



Do not use In-Car Charger when engine is off.

To avoid weakening the car battery, always start engine before charging the handset using In-Car Charger.



During periods of disuse

Always unplug AC Charger or In-Car Charger after use.



Handset maintenance

Always disconnect AC Charger or In-Car Charger when cleaning handset.



In-Car Charger installation

Properly position the cable for safe driving to avoid injury or accidents.



Battery

Do not throw or abuse battery. Battery may overheat, burst or ignite.



Do not leave battery in direct sunlight or inside a closed vehicle; may reduce battery performance or overheat. An overheated battery may cause fire.



Do not expose battery to liquids. Performance may deteriorate.



If battery fluid contacts skin or clothes, rinse with clean water immediately.



Do not dispose of an exhausted battery with ordinary refuse; always tape over battery terminals before disposal. Take battery to a SoftBank shop, or follow the local disposal regulations.



Keep battery out of children's reach.



- Charge battery in ambient temperatures between 5°C and 35°C; outside this range, battery may leak/overheat and performance may deteriorate.
- If your child is using handset, explain all instructions and supervise usage.
- If there is abnormal odor or excessive heat, stop using battery and call SoftBank Customer Center, Customer Assistance.
- Charge battery at least once every six months; an uncharged battery may become unusable.



General Notes

General Use

- SoftBank is not liable for any damages resulting from accidental loss/alteration of handset or Memory Card data. Keep a copy of Phone Book entries, etc. in a separate place.
- Handset transmissions may be disrupted inside buildings, tunnels or underground, or when moving into/out of such places.
- Use handset without disturbing others.
- Handsets are radios as stipulated by the Radio Law.

Under the Radio Law, handsets must be submitted for inspection upon request.

- Handset use near landlines, TVs or radios may cause interference.
- **Beware of eavesdropping.**

Because this service is completely digital, the possibility of signal interception is greatly reduced. However, some transmissions may be overheard.

Eavesdropping

Deliberate/accidental interception of communications constitutes eavesdropping.

Inside Vehicles

- Never use handset while driving.
- Do not park illegally to use handset.
- Handset use may affect a vehicle's electronic equipment.

Aboard Aircraft

Never use handset aboard aircraft (keep power off).

Handset use may impair aircraft operation.

Handset Care

- If handset is left with no battery or an exhausted one, data may be altered/lost. SoftBank is not liable for any resulting damages.
- Use handset between 5°C - 35°C (35% - 85% humidity). Avoid extreme temperatures and direct sunlight.
- Exposing lens to direct sunlight may damage color filter and affect image color.
- Do not drop or subject handset to shocks.
- Clean handset with dry, soft cloth. Using alcohol, thinner, etc. may damage it.
- Do not expose handset to rain, snow or high humidity.
- Never disassemble or modify handset.
- Avoid scratching handset Display.
- When closing handset, keep straps, etc. outside to avoid damaging the Display.
- When using Headphones, moderate volume to avoid sound bleed.
- **Function Usage Limits**
These functions are disabled after handset upgrade/replacement or service cancellation: Camera; Media Player; S! Applications; TV. After a period of disuse, these functions may be unusable; retrieve Network Information to restore usability.
- Handset is not water-proof. Avoid exposure to liquids and high humidity.
- Keep handset away from precipitation.
- Cold air from air conditioning, etc. may condense causing corrosion.
- Avoid dropping handset in damp places (toilet, bathroom, etc.).

- On the beach, keep handset away from water and direct sunlight.
- Perspiration may seep inside handset causing malfunction.
- Avoid heavy objects or excessive pressure. May cause malfunction or injury.
- Do not sit down with handset in a back pocket.
- Do not place heavy objects on handset in a bag.
- Connect only the specified products to AV OUT/Headphone Port. Non-specified devices may malfunction or cause damage.
- Always turn off handset before removing battery.
If battery is removed while saving data or sending mail, data may be lost, changed or destroyed.

Copyrights

Copyright laws protect sounds, images, computer programs, databases, other materials and copyright holders. Duplicated material is limited to private use only. Use of materials beyond this limit or without permission of copyright holders may constitute copyright infringement, and be subject to criminal punishment. Comply with copyright laws when using images captured with handset camera.

Electromagnetic Waves

For body-worn operation, this phone has been tested and meets RF exposure guidelines when used with accessories containing no metal, that position handset a minimum of 15 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules.

Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health. The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the

Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.375 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.308 W/kg.

Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://www.fcc.gov/oet/fccid> after searching on FCC ID APYHRO00062.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at <http://www.phonefacts.net>.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins

designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was ●● W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide**. In this case, the highest tested SAR value is ●● W/kg. As SAR is measured utilizing the device's highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the Network. The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free* device to keep the mobile phone away from the head and body.

*Values are measured in accordance with international guidelines for testing.

**Please see General Notes (Electromagnetic Waves) on P. ●● for important notes regarding body-worn operation.

Declaration of Conformity

CE 0168

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that 920SH is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC. A copy of the original declaration of conformity for each model can be found at the following Internet address: <http://www.sharp.co.jp/k-tai/>